



わたしたちの猪名川環境

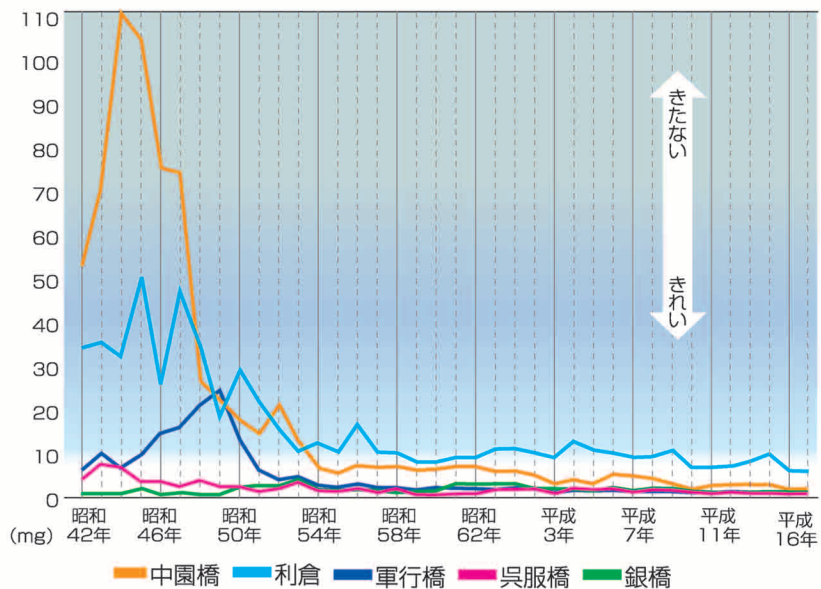


猪名川の水質はキレイですか？

かつては、猪名川の流れに、色鮮やかに水に動く友禅流しが見られましたが、昭和40年代の社会経済の発展と都市化に伴って特に最明寺川、駄六川などの水質が悪化しました。そこで、昭和44年に関係機関が「水質汚濁対策連絡協議会」を発足させたのを始め、下水道・公共下水道網の整備及び工場排水に対しては、全般的に国の基準より厳しい基準が定められたことなどにより、特に中流部の水質は昭和50年を境に大幅に改善され、昭和52年以降は大きな変化はなく、改善もしくは横ばいの状態です。

■猪名川河川事務所の水質調査実施地点

■水質汚濁グラフ (BOD年平均値)



ワイワイわんど (環境復元の試み)

猪名川では、もともと猪名川にすんでいた生き物たちがすみやすい環境が少なくなっています。そこで、猪名川の環境を復元する試みとして、『下河原エコアップワークショップ』を開催し、住民の皆さんと協力し合って猪名川の下河原地区の環境復元に取り組んでいます。平成12年度にはワークショップに集まっていた住民の皆さんの意見などをもとにして、人工のわんど「ワイワイわんど」を造りました。

その後ワークショップでは、わんどに入って生き物を網ですくいといった観察や、水質調査、清掃活動など、住民の皆さんに実際に触れあって猪名川を知ってもらい、わんどの環境の保全や広報に協力していただくなどの活動が続けており、最近では、流域内の小学校の総合学習などにも「ワイワイわんど」が活用されています。



ワイワイわんど



ワークショップの様子



わんどとは？

河岸が入り江状になり、浅い池のように水が留まったところを「わんど」といいます。わんどでは水がよどみ、水面はおだやかで、生物の良好な生息域となり、植生および水生生物共に豊かであることから、近年生態的な観点からその価値が評価されています。

猪名川にはどんな生き物がいるの？

鳥

1996年の調査で、12目79種類の鳥たちが見つかっています。水辺や中洲ではサギ類・チドリ類・セキレイなどが多く見られ、公園にはスズメ・ムクドリがいます。河口あたりでは一年を通してカワウがいたり、冬にはカモ類やユリカモメが水辺に浮かんでいるのが見られます。



ハクセキレイ
地上を歩きながらえさをとっている姿が観察できます。

は虫類・両生類

1998年度の調査で両生類は1目2科5種、は虫類は2目4科8種確認されています。両生類ではウシガエル、は虫類ではアカミミガメなどがいます。



ウシガエル
体長約12cm。

魚

1995年度の調査で21種類、2000年度調査で28種類の魚が確認されています。いちばん多いのはオイカワで、次にギンブナ・カマツカと続いています。



オイカワ
全長約15cm。
中・下流域に広くすんでいます。



カマツカ
全長約20cm。砂や小石が
混じる川底にすんでいます。

植物

1999年度の調査で51種の植物群落、413種の植物が確認されています。代表的な植物は、セイタカアワダチソウ群落やアレチウリ群落など、下流にはヨシ、ツルヨシなどがあります。



アレチウリ群落
人為的に外国から入ってきて
そのまま野生化した帰化植物。



ヨシ群落

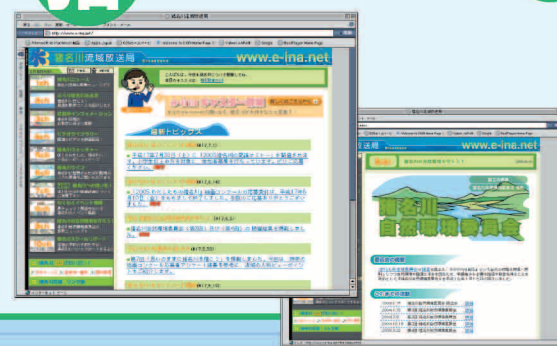
昆虫

1997年度の春・夏・秋の3回に分けて調査したところ、438種確認されています。そして、上流に向かうほど昆虫の種類が増えることがわかりました。もっとも多いのは河川敷にいるバッタ類です。



クロヤマアリ
広い地域で見られます。
巣は深い土の中にあります。

猪名川流域放送局



もっと猪名川を知ろう！

猪名川流域放送局 (<http://www.e-ina.net>) では、猪名川自然環境委員会の開催状況や、猪名川を活用した総合学習などの様子、猪名川のおすすめお散歩コースについての情報、今後の猪名川のありかたを決める整備計画の策定に関する情報についてのお知らせや、猪名川に設置したカメラのライブ画像などを発信しています。

今すぐアクセス！

<http://www.e-ina.net>